

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの・・・決算日の市場価格等に基づく時価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却方法

定額法を採用している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用している。

2. 金融商品の状況

(1) 金融商品に関する取組方針

公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、預貯金、株式により資産運用する。

なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は株式であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 規程に基づく取引

基本財産管理規程、奨学資金積立基金規程、特定費用準備資金等取扱規程、株式および投資有価証券運用規程に基づき行う。

② 市場リスクの管理

株式については時価を定期的に把握するとともに、発行体の四半期決算短信等を確認する。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,100,000	0	0	30,100,000
投資有価証券	6,341,082,290	2,096,596,470	0	8,437,678,760
小 計	6,371,182,290	2,096,596,470		8,467,778,760
特定資産				
公益奨学資金積立基金	70,379,090	0	0	70,379,090
その他奨学資金積立基金	12,000,000	0	0	12,000,000
公益特定費用準備積立資金	42,080,000	0	13,680,000	28,400,000
小 計	124,459,090	0	13,680,000	110,779,090
合 計	6,495,641,380	2,096,596,470	13,680,000	8,578,557,850

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	30,100,000	(5,000,000)	(25,100,000)	(0)
投資有価証券	8,437,678,760	(0)	(8,437,678,760)	(0)
小 計	8,467,778,760	(5,000,000)	(8,462,778,760)	(0)
特定資産				
公益奨学資金積立基金	70,379,090	(0)	(70,379,090)	(0)
その他奨学資金積立基金	12,000,000	(0)	(12,000,000)	(0)
公益特定費用準備積立資金	28,400,000	(0)	(28,400,000)	(0)
小 計	110,779,090	(0)	(110,779,090)	(0)
合 計	8,578,557,850	(5,000,000)	(8,573,557,850)	(0)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	16,413,405	11,896,471	4,516,934
合 計	16,413,405	11,896,471	4,516,934

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

「財務諸表に対する注記」に記載しているため、記載を省略する。